



“ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業”の

陶芸家と窯屋を結ぶ情報誌

窯ナビ

必ず良いことがある人のために送る！

DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

【発行日】2010年5月31日 【発行人】(株)大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

ウラ面も情報満載

■「すべての素材にある力強さを生かしてアートにする！ ジョニーさん」



Johnny's Art Studio
篠崎 英夫
(しのぎき ひでお)
むじなっばら陶房
篠崎 佳苗
(しのぎき かなえ)

〒321-4216
栃木県芳賀郡益子町塙490
0285-72-0891
e-mail: hgypd541@yahoo.co.jp
お出かけの前にご連絡ください。

【ドイツ人陶芸家から学んだこと】

- 秋元:陶芸家になるきっかけは何でしたか？
- 篠崎:21歳の時、陶芸をやる為に益子に移りました。ゲルト・クナッパ氏に学びました。始めに轆轤台づくりからのスタートでした。
- 秋元:何かひとつ心に残る出来事を上げるとすると、どんな事がありますか？
- 篠崎:外国人の元で学べた事で、応用力が身に付きました。何でも自分でつくるということは、自分の小さい頃にも同じような記憶があります。
- 秋元:その経験が今に生かされているんですね。
- 篠崎:陶芸の他にも、木工、鉄、ガーデニング等、興味のある事はなんでも自分でやりますね。
- 秋元:お客様からどのような事を言われると嬉しいですか？
- 篠崎:使いやすいと言われると嬉しいですね。
- 秋元:どんな時にやりがいを感じますか？
- 篠崎:ここには、陶器でも鉄でも木でも、素材は何でもつくれる環境があるんです。それを最大限に活かして作品づくりをしています。やきもの仕事に余裕があるときは、その時の気分で素材を選び、好きなものをつくっています。気の向くまま、自由に制作出来る時が幸せですね。

【国際バラとガーデニングコンクールで準優勝】

- 秋元:最近、一番嬉しかった事は何ですか？
- 篠崎:西部ドームでの“国際バラとガーデニングコンクール”で準優勝を頂きました。
- 秋元:お仕事ぶりをご家族はどうおしゃっていますか？
- 篠崎:しょうがないなあ..と思っているのかな?(笑)
- 自由生きる姿を見せることで伝えていることもありますけどね。
- 秋元:今の目標、来年やりたいことは？
- 篠崎:工房、お店、庭など、今の環境を来年も良くしていきたいです。窯の修理をしたので、更に頑張っていきます。
- 秋元:大築窯炉のガス窯を選んだ理由は何ですか？
- 篠崎:炭化焼成が出来る窯を探していたときにガス屋さん経由で知りました。
- 秋元:大築窯炉のイメージは？
- 篠崎:煙突も新しくしてもらい良かったです。炭化がかかりやすいです。材料になる鉄をいただき、ありがとうございました。

●敬称は略させていただきます
取材担当:秋元智香



自宅の庭もイングリッシュガーデン風

うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！メッセージ！

■ガス窯を鋼材から作る時、一番最初に注意することは、‘直角と水平’。これが狂うと扉が勝手に開いてしまったり、台車が窯から出てきたりする。■しかし、アートとなると話は別もの。直角・水平が決まってもまったく無意味。逆に有機的な曲線やアジのある表情が楽しさをだす。■篠崎さんの作品は、いくら鉄を扱ってもなかなかできない。この表現感覚はどこから出てくるのだろうか？私は思う。それは素材である粘土や鉄、木、なにより植物に対する優しさからだ。材料は、熟知し優しく扱ってやらないと使えなくなることもある。人がつくったものの大半は、半分が優しさでできている、とさえ思うことがある。優しくないものづくりはできないのだあ。



鉄も木もその他色々使ってオブジェやら家具やらまでも作っちゃう人気作家の篠崎さん

こちらは木の工作スペース⇒



錆びた鉄がパワーをもらいアートに変身



■陶芸羅針盤■陶芸と電気について■

■陶芸に電気機器は欠かせない存在といえますが、電気の種類や、契約については、知らない人が多いと思います。今回は、簡単ではありますが、電気や電気機器について説明していきたいと思ひます。

■電力供給方法は、一般的には下記のようなものがあります。

- ・単相100V2線式
- ・単相100V/200V3線式
- ・三相200V3線式

【単相100V2線式】

従量電灯B契約の30Aまでに使用される供給方式です。100Vの機器しか使用出来ません。

【単相100V/200V3線式】

従量電灯B契約(※1)の30Aから60Aまでと、従量電灯C契約(※2)に使用される供給方式です。3線式で供給され、100Vと200Vの両方が使用出来ます。100Vの機器と2線式200Vの電気炉等が使用出来ます。

【3相3線式200V】

低圧電力契約で使用される供給方式です。一般的に「動力」と言われています。2線式200Vの電気炉や3相3線式200Vの大型電気炉、土練機、ロクロなどが使用できます。(電気炉で三相200Vといった場合は、3相3線式200Vをさします。)

(補足説明)

※1: 従量電灯B契約＝一般的な家庭で使用される契約方式。60Aまで契約できます。

※2: 従量電灯C契約＝オール電化住宅や店舗兼住宅など大型の200V機器を使用する場合に使用される契約方式です。

従量電灯××契約は、使用料に応じて課金される料金体系です(従量制)。

したがって、基本料金は低くおさえられているようです。

これに対して、低圧電力契約は一種の定額制で、基本料金は高いのですが、使用料が低額となっています。

(この記事は、鉦田智志が担当しました)

■ユーザーさんの個展情報■



ギャラリー猫町2F

東京都台東区谷中2-6-24
03-5815-2293
2010. 6. 10(木)~6. 20(日)
月、火、水祝日除き定休日
11時~18時

johnnyが鉄、木、粘土を素材に猫を表現します。



加藤芳夫・みえこ 二人展

2010年4月17日(土)~4月30日(金)
もえぎ城内坂店
栃木県芳賀郡益子町城内坂150
Tel.0285-72-6003(代)
fax0285-72-5008
http://mshope/exblog.jp/



陶・五月人形展

2010年3月6日(土)~5月5日(水)
笠間 ギャラリーかまげん
出品作家: 井上 卓
大野敦史
永島君江

■三社により「焼成講座」を実施

■2月4日、茨城県窯業振興協会主催により、茨城県窯業指導所にて陶芸窯の焼成講座が昨年に引き続き実施されました。

■前回同様、当社はガス窯、(株)橋本電炉工業さんは電気窯、シンリュウ(株)さんは灯油窯をそれぞれ担当しました。■私がお話した内容は、昨年10月16日、北茨城市でのガス窯によるCO中毒事故詳細と、事故防止のための対策が中心でした。ガス窯は機能的にも優れ、使用者も多数おられますが、使用方法を間違えると重大な事故につながる恐れがあります。今後、こういった事故が発生しないように、メーカーとしてより一層周知活動に力を入れたいと考えております。■最後になりましたが、ご不幸にあわれた皆様には、謹んでお悔やみ申し上げます。

■なるほど！釉陶里炉・学習帳■耐火断熱レンガの規格と用語解説

【C類耐火断熱レンガ】は圧縮の強さを大きくしたレンガで、B類では強度が不足する場合、このC類レンガが広く使用されています。

【用途】

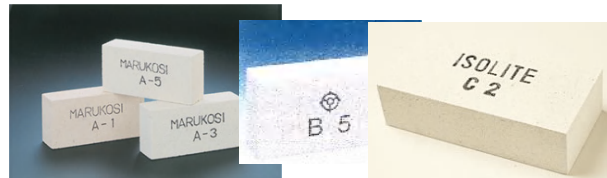
各種窯炉のセリ受けや荷重のかかる部分、あるいは振動を受ける箇所、ある程度磨耗のおそれのある箇所などの内張り用に向いています。

【用語解説】熱伝導率＝熱伝導度

単位時間、単位面積を垂直方向に流れる熱量と、この方向の温度勾配との比。良くわかりませんね。簡単に言えば、(高温側から低温側へ)熱の伝わりやすさ、です。例えば、鉄の熱伝導率は83.5、空気は0.0241です。鉄は熱を伝えやすく、空気は伝えにくいといえます。別な言い方をすると、触って冷たく感じるのは熱伝導率が高く、暖かく感じるのはそれが低いといえます。耐火断熱レンガは熱を非常に伝えにくい空気が入っていることで、断熱効果を上げています。熱伝導率が小さいと、炉壁からの熱放散が小さくなります。ほかには建物の窓、ペアガラスも二枚のガラスの間に乾燥した空気を閉じ込めることで断熱効果を上げています。発泡スチロールも同じです。

【C類耐火断熱レンガ】

品 種	C1	C2	C3
JIS分類表示	1300-1.10-0.39	1400-1.20-0.42	1500-1.25-0.50
規格			
残存線変化率が±2%を超えない温度(℃)	1300	1400	1500
かさ比重	1.10 ≧	1.20 ≧	1.25 ≧
熱伝導率	0.50 ≧	0.60 ≧	0.68 ≧



■編集後記「あとかんげん」■

■ある日の朝、いつも使っているパソコン(以下PC)の電源を入れると、画面が真っ暗だった。「来たか！」心も真っ暗になった。D社のPC、壊れたのだ。これはたいへん困った状態。ネットやメールも見られないし、見積もりひとつ書くことができない。バックアップデータは取ってあるが、新しいPCをこれから注文して、それがくるまでには運が悪いと1ヶ月位かかることもある・・・■ここで出てくるのがいつもの理論。「壊れたものは直す！」と言ってもPC、そう簡単には直らないかも。そこで頼りになるのが技術担当のヤマちゃん(鉦田)である。彼はすごい。PCを作ってしまうのだ。部品を一つひとつ集めて組み立てて、ソフトを入れて動かす。さらに！壊れたら直す。まさにツワモノ。そこで彼に症状を話すと一発回答！「○○○かも知れませんが」「じゃあ頼む」と私。■朝は何かと忙しい。細かい仕事をしているといつの間にか10時だ。みんなが休憩室に戻ってくる。私も入る。「直りました」とヤマちゃん。おお画面が明るい！心も明るい！「やっぱりそうだった？」と私。「はい、250円でした」とヤマちゃん。彼は私が事務所を離れている間に、近所のホームセンターに行き、5円玉位のボタン電池を購入し、パソコンの箱を開け、交換してくれたのだ。ありがとうヤマちゃん！貴重な時間が助かった！それより何より仕事ができる。パソコンが無駄にならない。なんと嬉しいことか、感謝、感謝である。